

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 478

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	校務システム用パソコン、サーバ等機器の賃貸借及び運用保守			
	電子黒板システム、タブレットパソコンの賃貸借及び運用保守			214,501
	コンピュータ室の機器賃貸借及び運用保守			474,127
	区立小・中学校、特別支援学校ネットワーク機器賃借及び運用保守			196,470
	その他（図書館システム使用料、緊急メール配信システム運用）			50,847
事業実績	<p>令和2年3月1日から新校務システムの運用を開始し、令和2年度からの指導要録、成績管理などの入力処理を行えるようにしました。中学校22校及び富士見丘小学校のパソコン室タブレットパソコンと和田小学校及び杉並和泉学園の児童・生徒用タブレットパソコンを新機種へ更新したほか、杉並第十小学校へ160台、高円寺学園へ280台の児童・生徒用タブレットパソコンを新たに配備しました。さらに、高円寺学園には、液晶電子黒板を全普通教室へ設置しました。</p>			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>平成2年度に中学校11校のコンピュータ室を設置しました。平成19年度に学校図書館、電子黒板、及び校務システムを整備し、平成26年度に全普通教室へ電子黒板の設置を完了し、平成29年度に校内無線LAN環境の整備を終えました。令和元年12月に文部科学省は、新学習指導要領下で学校・教育委員会が情報教育に取り組むために参考となるようプログラミング教育、デジタル教科書なども追加した「教育の情報化に関する手引き」を作成しました。これまでは、児童・生徒用タブレットパソコン「3人1台」を目標とし、配備を進めてきましたが、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、資質や能力が一層確実に育成できる「1人1台」専用端末の早期実現が求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>新教育ビジョン及び（仮称）杉並区立学校ICT整備推進計画の策定により、児童・生徒用のタブレットパソコンの「1人1台専用端末」の環境が実現し、児童・生徒の学習活動が一層充実するように整備を進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>校務パソコンについては、教員1人に1台を実現しています。また、児童生徒用タブレットパソコンについても、令和2年度には、「実行計画」より1年早く、3人に1台を実現できる予定です。</p>
評価と課題	<p>新校務システムへのシステム切り替えを完了しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により学校訪問による校内研修が中止されたため、システムの操作動画の配信等の代替措置を取りました。また、ICT支援員の学校訪問も中断したため、臨時ヘルプデスクを設置しました。児童・生徒1人1台専用での配備を目指していたタブレットパソコンについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校臨時休業中の学びの機会を保障するため、令和2年度中に前倒して配備します。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度に、児童・生徒用タブレットパソコンは、新学習指導要領が中学校で全面实施されることに向けて、全中学校に、必要な授業時間に1学年全クラスが同時に使えるよう1,200台追加配備します。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00797)

事務事業名称	教職員の研修②	款 07	項 01	目 03	事業 013	整理番号	486
現担当課名	済美教育センター	係名	教育指導係	連絡先 電話番号	3311-0021	昨年度 整理番号	
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	既定事業		
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名						事業評価区分	一般

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立学校教員、子供園保育者、教育関係者	根拠 法令 等	(1) (2)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条及び第45条 教育公務員特例法第21条及び第22条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教員及び教育関係者が日常的にICTを効果的に活用した指導力を身に付けられるよう、ICTを活用した模範授業の公開や研修などを実施する。	活動指標		
		指標名 (1)		ICTを活用した研修等の実施回数
		指標説明		
		指標名 (2)		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○ICTの効果的な活用について、実践的な知識や技術を学ぶための研修を実施する。 ○前述の研修を実施するために、済美教育センターのICT環境を整備する。	指標説明		
		成果指標		
		指標名 (1)		ICT活用研修に対する参加・出席教職員・保育者の肯定率
		指標説明		肯定率=4段階評価で上位2位までの率(研修終了後のアンケートによる)
		指標名 (2)		
		指標説明		

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度 実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 回				10	12	15	120.0	31.5	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 %				100	100	100	100.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円				3,241	1,021	1,989	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円				0	0	0	ICT環境の整備が、令和元年5月から11月に変更になったため、使用料及び賃借料の一部が執行残となりました。		
(内) 委託費	7 千円				132	220	0			
職員数	8 人				0.10	0.10	0.10			
	9 人				0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円				843	872	872			
	11 千円				0	0	0			
総事業費 (5+10+11)	12 千円				4,084	1,893	2,861			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円				408,400	157,750	190,733			
財源	受益者負担分	14 千円			0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円			0	0	0			
	都からの補助金等	16 千円			0	0	0			
	その他の補助金等	17 千円			0	0	0			
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円				0	0	0		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円				4,084	1,893	2,861		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %				0.0	0.0	0.0			

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 486

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	I C Tを活用した研修等の実施		12	回
	その他 ()			
事業実績	児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教員が I C Tを効果的に活用した指導力を身に付けられるよう、I C T環境を活用した研修を実施しました。			

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	令和元年度に済美教育センター内に区立学校と同様の I C T環境を整備し、I C Tを活用した研修等を済美教育センターにおいて実施することが可能となりました。 初年度は、デジタル教科書やプログラミング教材の活用などの I C Tを活用した研修等を合計12回実施し、延べ66人が参加しました。
事業の今後 (3~5年)の予測と方向性	学びの個別最適化に向けて、「学校教育の情報化推進に関する法律」が施行され、「G I G Aスクール構想」「先端技術を活用した学び」等の教育情報化施策が実施されています。 そのため、教員一人ひとりが日常的に I C Tを活用した指導力を身に付けることができるよう、研修内容や実施方法など充実を図っていく必要があります。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	成果指標の(1)のとおり、参加者全員から高評価を得ました。次年度も引き続き、参加者が満足できる研修を実施できるよう努めていきます。
評価と課題	研修に対する肯定率は、100%と非常に高い結果を得ることができました。 I C T活用研修を通して、I C T機器の操作スキルだけでなく、児童・生徒にどのように情報活用能力を育成していくのかという視点に立って授業が行えるよう、教員の指導力を高めていく必要があります。 また、eラーニングなど I C Tを活用した研修を取り入れるなど、実施方法を工夫することで、より多くの教員の受講希望に対応していく必要があります。

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	引き続き、I C Tを活用した研修の充実に努め、教員の I C Tを活用した指導力の向上を図ることで、授業における I C Tの利活用の推進に寄与していきます。 実施にあたっては、より多くの教員の参加を実現するため、eラーニングなど I C T環境を活用するなど、実施方法を工夫していきます。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 491

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	学校司書に対する旅費の支出		64	人
学校図書館活用実践校事業の実施		6	校	3,268
学校図書館支援パート旅費の支出		4	人	51
学校司書研修講師謝礼の支出		6	人	110
その他 (学校図書館研究用図書の購入ほか)				405

事業実績

引き続き区立小中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の蔵書の充実や館内整備を行うとともに、読書活動の推進や授業での学校図書館活用の充実を図りました。学校図書館活用実践校 (小学校3校・中学校3校) では、不足している分野の調べ学習用資料の購入や学年で読ませたい本の複数冊化を通して、学校図書館活用の活性化に取り組みました。また、学校図書館支援担当は運営の相談に応じるとともに、多方面への研修を実施しました。特に学校司書研修では、自校の蔵書の見直しや児童生徒への効果的な働きかけ方などを内容とし、資質の向上につなげました。

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置しています。学校図書館サポートデスクでは各学校図書館の支援を行い、学校図書館の整備・活用を推進してきました。学校図書館の貸出冊数は、学校司書が配置される前と比べて、小学校は3倍近く、中学校は6倍を超える伸びです。</p> <p>蔵書については、毎年蔵書の更新 (購入・廃棄・買い替え) を進めた結果、国で定めた基準の冊数以上を持つ学校は、令和元年度末には小学校では90%、中学校では87%になりました。児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>学校図書館の3つの機能 (児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」、児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」・「情報センター」) の充実・強化を図るため、今後も小中学校全校に学校司書を配置し、研修を拡充させていきます。学校図書館を活用した教育活動が更に充実するよう活用実践校の取組を司書教諭研修等を通じて全校へ発信します。また、学校図書館においてタブレットを活用・併用した学習が増えることも予想されます。そうした新たな指導内容・方法等の情報共有や新学習指導要領による教科書に適した蔵書の紹介等、学校図書館支援担当による支援を継続しながら、学校図書館の活用を推進していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>学校図書館の1人当たり年間貸出冊数は、夏休みの貸出冊数を増やしたり、学年に適した図書を購入して紹介したり、学校図書館を活用した授業が増えたりした結果、2月時点までは順調に伸び、前年度を上回りましたが、3月の臨時休業を受けて最終的には前年度を下回りました。臨時休業が長期化した場合に備えて、貸出を継続していく仕組みを考えていきます。</p>
評価と課題	<p>学校司書の全校配置から10年が経過し、学校図書館の機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業実践が充実してきました。しかし蔵書面では、蔵書冊数基準未達成の学校や、達成していても利用の見込めない図書を持つ学校の存在があり、活動面では、小学生の読書の質の向上や中学生の読書活動・学校図書館利用が課題となっています。さらにタブレットと図書資料の同時活用による学習例を情報共有し、教育課程の展開に寄与する学校図書館活用を推進する必要があります。特に今回のような学校の臨時休業時に、学校図書館はどのような活動や学習支援ができるかが新たな課題となりました。これらの基盤となる校内の運営体制作りや、司書教諭の役割の意識化・学校司書との連携・協働の推進を進めていきます。</p>

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>学校図書館を活用した教育活動の推進及び学校図書館の機能充実を図るため、これまでの成果を踏まえ、引き続き学校司書を小中学校全校に配置し、学校図書館を活性化していきます。学校図書館サポートデスクは、学校図書館への訪問や学校司書研修をはじめとする様々な研修や電話・メール等による相談を通じて、各学校内の学校図書館運営体制の確立を促します。学校図書館活用実践校を指定し、蔵書冊数に配慮しながら、学校図書館活用の計画化と実践を進め、その取組を研修等で共有化します。ICT機器の活用などを通じて、今般の臨時休業時の課題など新しい課題への対応も行い、学校図書館の「読書センター、学習センター、情報センター」機能を社会情勢の変化にも適応して果たしていきます。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 499

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	機械警備業務委託		40	校
	機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	8	校	13,188
	昇降機保守点検業務委託	11	校	13,300
	施設保全法定点検業務委託	41	校	10,244
	その他（設備の保守委託）			48,180
事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託を推進しています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 505

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	久我山小学校給食室改修その他工事			
	沓掛小学校便所改修工事			93,960
	堀之内小学校校舎外壁補修工事			73,980
	桃井第四小学校便所改修工事			45,306
	その他（天沼小学校普通教室増設工事ほか）			354,731
事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>（環境の変化）</p> <p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p> <p>（意見）</p> <p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。</p>
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 506

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	屋内運動場空調設備設置工事		4	校	95,286
	屋内運動場空調設備賃貸借		9	校	1,676
	その他（ ）				
事業実績	桃井第五小学校ほか3校の屋内運動場に空調設備を設置しました。 また、杉並第一小学校ほか8校の屋内運動場に、空調設備の賃貸借による整備をしました。				

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を始めました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	特別教室の空調設備整備は完了しましたが、少人数教室などにも、学習環境改善のため、空調設備設置が求められることが予想されます。 また、屋内運動場について、令和元年度から3年度までの3か年で、整備を計画し、実施することにより、教育ビジョン推進計画の目的である、教育環境及び震災時の避難者の生活環境向上が達成されます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しています。
評価と課題	普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。引き続き、屋内運動場への整備を進めていきます。 今後は、空調設備未設置の少人数教室等への整備について検討を進めます。

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン2012推進計画」及び小学校PTA連合協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を検討します。 また、屋内運動場については、空調設備の整備を3か年で順次計画的に進めていきます。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00666)

事務事業名称	小中一貫校の施設整備 (高円寺地区)	款 07	項 02	目 03	事業 009	整理番号	507
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係	連絡先 電話番号	1683	昨年度 整理番号	516
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実				予算事業区分	投資事業	
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	学校整備課				事業評価区分	一般	

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等	(1) 地方自治法第180条の2 (2) 学校施設環境改善交付金交付要綱第3
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現・高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を建設する。	活動指標	指標名 (1) 建設工事進捗率 (平成29～令和元年度) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成25年度～令和元年度 新しい学校づくり懇談会開催 ○平成27年度 基本設計 ○平成27年度～28年度 実施設計 ○平成28年度末～令和元年度 新校舎建設工事 ○令和2年4月 新校開校 ○令和2年3月～8月 環境整備工事	指標名 (2)	環境整備工事進捗率 (令和元年度)
		指標説明	これまでは設計進捗率であったが、平成28年度に実績値が100%になったため、指標を変更した。
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 %	29	90	87	100	100	100	100.0	96.6
活動指標 (2)	2 %	0	0	0	10	4	100	40.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	434,056	1,213,677	1,208,569	1,984,080	1,916,774	136,075	特記事項 この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号 521と分割して記載しています。 (No.507…小学校費、No.521…中学校費)	
(内) 投資的経費等	6 千円	434,056	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	433,949	1,145,633	1,145,556	1,867,450	1,803,096	127,637		
職員数	8 人	1.59	1.75	1.80	1.75	1.98	0.50		
	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	13,660	15,034	15,167	14,746	17,262	4,359		
	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	447,716	1,228,711	1,223,736	1,998,826	1,934,036	140,434		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	15,438,483	13,652,344	14,065,931	19,988,260	19,340,360	1,404,340		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	15 千円	59,214	0	158,741	0	226,975	0		
	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	17 千円	0	0	0	0	0	2,400		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	59,214	0	158,741	0	226,975	2,400		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	388,502	1,228,711	1,064,995	1,998,826	1,707,061	138,034		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 507

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	建設工事			
	初度備品の購入			66,373
	その他（事務費等）			98,290
事業実績	令和2年4月の高円寺学園開校に向けた整備を着実に進め、令和元年7月に建設工事が完了しました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。</p> <p>平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和2年4月の開校により、旧杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動がより盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>工期を平成31年2月から令和元年7月へ延長し、建設工事は完了しました。環境整備工事は令和2年3月に開始しました。</p>
評価と課題	<p>令和元年7月に新校舎が竣工し、高円寺中学校が2学期から新校舎で学校運営を開始しました。また、令和2年3月には、学校関係者と緊密な連携を図り、杉並第四小学校及び杉並第八小学校も新校舎への移転を行いました。</p> <p>令和2年4月の開校後も、引き続き環境整備工事を行っていることから高円寺学園の学校運営に支障が生じないよう努め、計画的に進めていきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和2年度の環境整備工事の完了に伴い、本事業は令和2年度をもって終了する予定です。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 508

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	改築関係工事 (環境整備工事、解体、安全対策工事等)			
	初度調弁			3,862
	落成式開催			497
	その他 (代替運動措置等)			702
事業実績	老朽化に伴う校舎改築工事が平成31年3月に完了し、4月に新校舎が開校しました。令和元年度は、既存校舎の解体工事及び環境整備工事を実施し、令和2年3月に全ての工事が完了しました。			

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は、新校舎の施設内容や建設工事の進め方などについて、保護者や近隣住民の理解、協力が得られ、工事が完了しました。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	令和2年3月に全ての工事が終了したことにより、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られます。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	平成31年3月に建設工事は完了しました。また、環境整備工事も令和2年3月に完了しました。
評価と課題	校舎改築に当たっては、様々な要望を踏まえ、教育環境が向上し、地域開放の需要に応える改築校舎となるよう工夫に努めました。また、過去の浸水被害を基に1階レベルを高く設定し、2階には災害時の避難場所として体育館とともに防災倉庫等を配置することで、防災拠点としての施設整備も併せて行うことができました。

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和元年度で桃井第二小学校の改築事業は終了しました。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 510

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	富士見丘小学校外2施設改築等工事に伴う基本設計及び実施設計業務委託			
	富士見丘小学校外2施設改築等工事に伴う地盤その他調査業務委託			5,940
	その他（改築検討懇談会委員謝礼ほか）			588
事業実績	富士見丘小学校・富士見丘中学校の一体的整備に向け、平成30年度に策定した改築基本計画に基づき、改築検討懇談会との意見交換を行い、両校の基本設計をまとめました。また、基本設計の説明会を開催し、周知と意見聴取を進めました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	改築基本計画及び基本設計の策定に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和元年度に供用開始された放射5号線の本線4車線化や、令和2年度から順次予定されている都立高井戸公園の開園など、周辺状況に対応した学校づくりを着実に進めていきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	「実行計画」では、令和元年度に基本設計を完了した上で、実施設計に一部着手することとしていましたが、工事のスケジュールを変えない範囲で設計工程を見直し、令和元年度は基本設計までを完了することとしました。
評価と課題	平成30年度に策定した改築基本計画を踏まえ、改築検討懇談会との意見交換を行うとともに、地域住民を対象とした説明会を開催するなど、様々な意見を伺いながら、基本設計をまとめることができました。今後は実施設計を着実に進め、改築基本計画で定めた目指す学校像の実現に取り組んでいきます。

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和2年度に完了する設計に基づき、令和3年度は建設工事に着手します。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00791)

事務事業名称	杉並第二小学校の改築	款 07	項 02	目 03	事業 014	整理番号	511
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係	連絡先 電話番号	1697	昨年度 整理番号	
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実				予算事業区分	投資事業	
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	学校整備課				事業評価区分	一般	

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並第二小学校の児童、教職員及び学校関係者	根拠 法令 等	(1) 学校教育法第5条 (2) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「総合計画・実行計画」に基づき、令和元年に築59年を迎えた杉並第二小学校の改築事業を図る。	活動指標	設計進捗率
		指標名 (1)	設計進捗率
		指標説明	改築に係る設計進捗状況 (基本設計30%・実施設計70%)
		指標名 (2)	改築検討懇談会開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明	
○令和元年度	改築検討懇談会設置・運営	成果指標	
	基本設計	指標名 (1)	
○令和2年度	実施設計	指標説明	
	仮設校舎建設	指標名 (2)	
○令和3~5年度	新校舎建設工事	指標説明	
○令和6~7年度	環境整備工事	指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1	%			30	30	100	100.0	80.2
活動指標 (2)	2	回			9	9	0	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円			72,938	58,527	218,853	特記事項	
(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
(内) 委託費	7	千円			72,232	57,898	211,825		
職員数	8	人			0.00	2.26	1.50		
	9	人			0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円			0	19,703	13,077		
	11	千円			0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12	千円			72,938	78,230	231,930		
単位当たりコスト (12÷1)	13	円			2,431,267	2,607,667	2,319,300		
財源	受益者負担分	14	千円		0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円		0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円		0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円		0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円		0	0	0		
	差引：一般財源 (12-18)	19	千円			72,938	78,230	231,930	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%			0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 511

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	改築検討懇談会の開催		9	回
	基本設計委託			41,828
	調査及び測量			15,727
	その他（改築校維持管理等）			122
事業実績	改築検討懇談会を開催し、全9回に渡る議論を経て、改築基本方針及び校舎配置・平面計画などについて懇談会としての意見をまとめました。懇談会の意見や埋蔵文化財・地盤調査などの諸調査の結果を踏まえ、基本設計を作成しました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は新校舎の施設内容や建設工事の進め方など、計画の具体化について関心が高まっています。</p> <p>杉並第二小学校の保護者だけでなく、未就学児の保護者に対する情報発信や改築期間中の運動スペース、運動時間の確保について配慮を求める意見がありました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>基本設計が終了し、改築計画を立てていく段階から、今後は埋蔵文化財の本調査、仮設校舎の建設、既存施設の解体、新校舎の建設等、様々な工事を施工する段階となります。近隣住民には、改築事業について一層ご理解いただくよう、丁寧な対応を行うとともに、工事が与える生活環境への配慮を行う必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>計画どおり、設計を進めています。</p>
評価と課題	<p>新校舎の配置については、特に冬期における校庭に落ちる日影を懸念する意見もあったことから、教育環境の充実、近隣周辺への配慮と影響、工事期間中の教育環境の確保など総合的な観点から検討を行い、改築検討懇談会内の合意形成を図った上で、新校舎を南東側に建設する計画として基本設計を作成することができました。</p> <p>今後は、教育環境の充実や近隣への配慮事項を実施設計の中で、いかに具体化するかを検討していきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和3年度は、実施設計を基に、校舎の解体工事や改築工事に着手していきます。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00507)

事務事業名称	中学校の維持管理	款 07	項 03	目 01	事業 002	整理番号	513	
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設整備係		連絡先 電話番号	1682	昨年度 整理番号	521
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始								
令和元年度 担当課名	学校整備課				事業評価区分	施設維持管理		

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立中学校の生徒及び施設設備	根拠 法令 等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	区立中学校数 予算の算定根拠 機械警備実施校数	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○機械警備や昇降機等が導入されている中学校について、それらの設備の保守管理を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	予算の算定根拠	

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 校	23	23	23	23	23	23	100.0	90.1
活動指標 (2)	2 校	22	22	22	22	22	22	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	38,686	43,049	39,468	46,462	41,864	44,004	特記事項 上記以外の職員人件費が減少したのは、令和元年度からパート職員の報酬に係る経費を別の予算事業「パートタイマー人件費」に計上したことによるものです。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	38,663	43,023	39,445	46,435	41,840	43,691		
職員数	8 人	29.49	29.40	29.46	31.40	31.53	32.60		
	9 人	3.00	3.06	3.60	3.60	0.00	0.00		
人件費	10 千円	211,302	202,619	200,326	212,680	220,019	220,485		
	11 千円	8,832	9,009	11,120	11,120	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	258,820	254,677	250,914	270,262	261,883	264,489		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	11,253,043	11,072,913	10,909,304	11,750,522	11,386,217	11,499,522		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	258,820	254,677	250,914	270,262	261,883	264,489		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 513

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	機械警備業務委託		22	校
	機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	6,929
	昇降機保守点検業務委託	10	校	9,583
	施設保全法定点検業務委託	22	校	5,484
	その他（設備の保守委託）			4,034
事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託を推進しています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 519

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	東原中学校校舎外壁補修工事			85,752
宮前中学校便所改修工事			67,824	
東田中学校受変電設備取替工事			43,280	
和田中学校屋上防水改修工事			40,150	
その他（宮前中学校屋上プール改修工事ほか）			98,225	
事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>（環境の変化）</p> <p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p> <p>（意見）</p> <p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。</p>
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 520

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	美術室空調設備整備工事		16	校
	屋内運動場空調設備設置工事	3	校	91,752
	屋内運動場空調設備賃貸借	3	校	788
	その他（ ）			
事業実績	天沼中学校ほか15校の美術室、井草中学校ほか2校の屋内運動場に空調設備を設置しました。また、荻窪中ほか2校の屋内運動場に空調設備の賃貸借による整備をしました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26・27年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室、令和元年度には美術室に設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を始めました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	特別教室については、令和2年度に計画している技術室への設置で整備を完了しますが、学習室等にも学習環境改善のため、整備が求められることが予想されます。 また、屋内運動場について、令和元年度から3年度までの3か年度で整備を計画し、実施することにより、教育ビジョン推進計画の目的である、教育環境及び震災時の避難者の生活環境向上が達成されます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	特別教室及び屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しています。
評価と課題	普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。引き続き、空調設備未設置の技術室及び屋内運動場への整備を進めていきます。 今後は、空調設備未設置の学習室等への整備について検討を進めます。

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン2012推進計画」及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を検討します。 また、屋内運動場については、空調設備の設置を3か年で順次計画的に進めていきます。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00669)

事務事業名称	小中一貫校の施設整備 (高円寺地区)			款 07	項 03	目 03	事業 007	整理番号	521
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係		連絡先電話番号	1684		昨年度整理番号	529
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実					予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)			
令和元年度担当課名	学校整備課					事業評価区分	一般		

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等	(1) 地方自治法第180条の2 (2) 学校施設環境改善交付金交付要綱第3
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。	活動指標	指標名 (1) 建設工事進捗率 (平成29～令和元年度) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成25年度～令和元年度 新しい学校づくり懇談会開催 ○平成27年度 基本設計 ○平成27年度～28年度 実施設計 ○平成28年度末～令和元年度 新校舎建設工事 ○令和2年4月 新校開校 ○令和2年3月～8月 環境整備工事	指標名 (2)	環境整備工事進捗率 (令和元年度)
		指標説明	これまでは設計進捗率であったが、平成28年度に実績値が100%になったため、指標を変更した。
成果指標		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度	令和元年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 %	29	90	87	100	100	100	100.0	95.8
活動指標 (2)	2 %	0	0	0	10	4	100	40.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	438,069	1,221,661	1,220,221	2,139,486	2,050,100	125,763	特記事項 この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号 507と分割して記載しています。 (No.507…小学校費、No.521…中学校費)	
(内) 投資的経費等	6 千円	438,069	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	433,989	1,146,803	1,146,676	2,069,007	1,983,032	123,637		
職員数	8 人	1.59	1.75	1.80	1.75	1.98	0.50		
	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	13,660	15,034	15,167	14,746	17,262	4,359		
	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	451,729	1,236,695	1,235,388	2,154,232	2,067,362	130,122		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	15,576,862	13,741,056	14,199,862	21,542,320	20,673,620	1,301,220		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	15 千円	59,215	0	158,741	0	0	0		
	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	59,215	0	158,741	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	392,514	1,236,695	1,076,647	2,154,232	2,067,362	130,122		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 521

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	建設工事			
解体工事				185,721
初度備品購入				40,170
	その他（事務費等）			72,097
事業実績	令和2年4月の高円寺学園開校に向けた整備を着実に進め、令和元年7月に建設工事が完了しました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。</p> <p>平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和2年4月の開校により、旧杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動がより盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>工期を平成31年2月から令和元年7月へ延長し、建設工事は完了しました。環境整備工事は令和2年3月に開始しました。</p>
評価と課題	<p>令和元年7月に新校舎が竣工し、高円寺中学校が2学期から新校舎で学校運営を開始しました。また、令和2年3月には、学校関係者と緊密な連携を図り、杉並第四小学校及び杉並第八小学校も新校舎への移転を行いました。</p> <p>令和2年4月の開校後も、引き続き環境整備工事を行っていることから高円寺学園の学校運営に支障が生じないよう努め、計画的に進めていきます。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和2年度の環境整備工事の完了に伴い、本事業は令和2年度をもって終了する予定です。	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00756)

事務事業名称	富士見丘小・中学校の改築			款 07	項 03	目 03	事業 008	整理番号	522	
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設計画係			連絡先 電話番号	1698	昨年度 整理番号	530
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01			主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和元年度 担当課名	学校整備課						事業評価区分	一般		

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者	根拠 法令 等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「総合計画・実行計画」に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	設計進捗率 (平成30～令和2年度、基本計画含む) 改築検討懇談会開催回数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度 内部検討 ○平成30年度 改築検討懇談会設置・運営 ○令和元年度 基本計画 改築検討懇談会運営 ○令和2年度 基本設計 ○令和3年度～ 実施設計 ○令和3年度～ 小学校新校舎建設工事 ○令和5年度～ 中学校新校舎建設工事 	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 %	0	10	10	30	30	100	100.0	84.6
活動指標 (2)	2 回	0	6	7	10	11	11	110.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	20,553	10,246	5,306	71,484	60,456	95,524	特記事項 ○令和元年度は基本設計の委託に伴い前年に比べて大幅な増となっています。 ○設計委託費等の落差金により執行残が生じています。 ○設計費について、令和2年度まで139,000千円の債務負担を設定しています。 ○この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号510と分割して記載しています。 (No. 510…小学校費、No. 522…中学校費)	
(内) 投資的経費等	6 千円	20,553	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	20,386	9,455	4,848	71,229	60,240	95,115		
職員数	8 人	1.00	1.20	1.34	1.15	1.24	0.75		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	8,591	10,309	11,291	9,690	10,810	6,539		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	29,144	20,555	16,597	81,174	71,266	102,063		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	0	2,055,500	1,659,700	2,705,800	2,375,533	1,020,630		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
受益者負担分	15 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	19 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	20 千円	29,144	20,555	16,597	81,174	71,266	102,063		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 522

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	富士見丘小学校外2施設改築等工事に伴う基本設計及び実施設計業務委託			
富士見丘小学校外2施設改築等工事に伴う地盤その他調査業務委託				5,940
	その他（改築検討懇談会委員謝礼ほか）			608
事業実績	富士見丘小学校・富士見丘中学校の一体的整備に向け、平成30年度に策定した改築基本計画に基づき、改築検討懇談会との意見交換を行い、両校の基本設計をまとめました。また、基本設計の説明会を開催し、周知と意見聴取を進めました。			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	改築基本計画及び基本設計の策定に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和元年度に供用開始された放射5号線の本線4車線化や、令和2年度から順次予定されている都立高井戸公園の開園など、周辺状況に対応した学校づくりを着実に進めていきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	「実行計画」では、令和元年度に基本設計を完了した上で、実施設計に一部着手することとしていましたが、工事のスケジュールを変えない範囲で設計工程を見直し、令和元年度は基本設計までを完了することとしました。
評価と課題	平成30年度に策定した改築基本計画を踏まえ、改築検討懇談会との意見交換を行うとともに、地域住民を対象とした説明会を開催するなど、様々な意見を伺いながら、基本設計をまとめることができました。今後は実施設計を着実に進め、改築基本計画で定めた目指す学校像の実現に取り組んでいきます。

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和2年度に完了する設計に基づき、令和3年度は建設工事に着手します。	